学校番号	1011

令和８年度　学ネイチャーテクノロジー科

教科	学ﾈｲﾁｬｰﾃｸﾉﾛｼﾞｰ	科目	(学)発展情報資格検定講座	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	日本語ワープロ検定試験　模擬問題集２・準２級編 情報処理技能検定試験（表計算）模擬問題集２・準２級編						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

情報資格検定講座を受講した人を対象とした授業となります。情報資格検定講座と同様、１年間を通してタイピングを実施、夏には情報処理技能検定試験（表計算）の準２級以上の取得を目指し、冬には日本語ワープロ検定試験の準２級以上の取得を目指してもらいます。上級の資格を持っておけばあなたの強みとなることでしょう。“パソコンが得意”と自信をもって言えるようにさらなる研鑽を積んでください。

2　学習の到達目標

・Word や Excel の専門的な技術を修得し、より難しい検定級の受験および資格取得をめざす。
・検定試験の合格ラインに達するように、見本の通りにビジネス文書を作成したりや表計算では適した関数を使うことができる。
・検定試験に向けて継続的な意欲を保ち、上級の合格に向けて積極的に取り組もうとしている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	年間の目標としてホームポジションを覚え、タイピングの速度をさらに上げることができる。 Word と Excel の基本的操作技能を身に付けたうえで、さらに応用的な操作技能を理解し、身に付ける。	どのようなときに計算や関数、並び替えが必要か考え、出力したい値を導き出すことができる。 応用的なグラフの作成方法や、ビジネス文書について、見本の通りに表現することができる。	検定取得に向けて継続的に積極的に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	情報処理技能検定試験(表計算)取得に向けて	タイピング ・ホームポジションについて 表計算ソフト(Excel) ・昨年度学習した関数(SUM・AVERAGE・MAX・MIN・ROUND・IF)の復習、 ・3級の過去問 ・難易度の高い関数(IFの入れ子、OR、AND、VLOOKUP)の学習 ・準2級過去問 ・2級過去問にチャレンジ ・過去問反復練習 ・検定試験の受験	a.ホームポジションについて理解し、意識をしながらタイピングに取り組むことができる。 b.計算や関数、グラフを適切に扱い、求められた値を導き出し、見本の通りのグラフを作成できる。 c.検定取得に向けて、意欲的に取り組もうとしている。	制作課題	制作課題	授業に取り組む姿勢
	Wordの復習	タイピング 2年生の復習(Word)	a. ホームポジションについて理解し、意識をしながらタイピングに取り組むことができる。 b.少し複雑なポスターを作成し、表現することができる。 c.検定取得に向けて、意欲的に取り組もうとしている。	制作課題	制作課題	
2学期	日本語ワープロ検定試験取得に向けて	タイピング ワープロソフト(Word) ・ビジネス文書の作成 ・表の作成 ・体裁の整え方 ・切り取り線の作成 ・準1級過去問チャレンジ ・図形を使った地図の作成 ・検定試験の受験	a.ホームポジションについて理解し、意識をしながらタイピングに取り組むことができる。 b. 見本となるビジネス文書を決められた時間内に作成することができる。図形を使った地図の作成ができる。 c.検定取得に向けて、意欲的に取り組もうとしている。	制作課題	制作課題	授業に取り組む姿勢

3学期	パワーポイントのスキルをつけよう	パワーポイント作成検定の過去問に取り組む ・基本的な操作の仕方 ・画像や図形の挿入方法 ・表計算ソフトを使用したグラフの挿入	a. パワーポイントの操作について、理解し見本の通りに作成することができる。 b. パワーポイントでグラフの挿入や背景への画像の挿入方法を理解し、見本の通りにそれらを作成することができる。 c.検定取得に向けて、意欲的に取り組もうとしている。	制作課題	制作課題	

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度